

咽頭結膜熱の流行について（警報）

令和8年5月28日（木）15時00分

北海道岩見沢保健所

電話：0126-20-0175

道では感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき感染症発生動向調査を実施しておりますが、令和8年第21週（令和8年5月18日～5月24日）において、岩見沢保健所管内の定点あたりの咽頭結膜熱患者報告数が、警報基準である3人以上となりましたので、まん延を防止するため警報を発令します。

今後、岩見沢保健所管内において流行がさらに拡大する可能性がありますので、感染予防に努めるようお願いいたします。

※岩見沢保健所管内・・・夕張市、岩見沢市、美唄市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、月形町

記

1 咽頭結膜熱とは

アデノウイルスの感染により、発熱（38～39度）、のどの痛み、結膜炎（結膜充血、眼痛、目やになど）のほか、食欲不振、全身倦怠感、頭痛などの症状がみられる小児に多い病気です。

通常、6月頃から徐々に流行しはじめ、7～8月にピークとなります。

プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるので、プール熱と呼ばれることもあります。

治療は対症療法のみで、発熱、のどや目の痛みなどつらい症状をやわらげる治療が中心です。吐き気、頭痛の強いとき、せきが激しいときは早めに医療機関に相談してください。

2 咽頭結膜熱の感染予防

患者との密接な接触は避け、タオルなどは別に使いましょう。また、流水とせっけんによる手洗い、うがいを行いましょう。

プールでは、水泳前後にシャワーを浴びて、よく体を洗うとともに、うがいをしましょう。

3 その他

(1) 最近5週における定点医療機関からの患者報告数(表示は、「報告数(患者/定点)」単位：人)

	第17週 (4/20～4/26)	第18週 (4/27～5/3)	第19週 (5/4～5/10)	第20週 (5/11～5/17)	第21週※ (5/18～5/24)
岩見沢保健所	3(1.50)	0(0.00)	0(0.00)	2(1.00)	7(3.50)※
北海道	30(0.30)	44(0.44)	27(0.27)	41(0.41)	- (-)
全国	694(0.31)	744(0.33)	586(0.26)	- (-)	- (-)

※第21週の患者報告数は速報値。

第20週までは、北海道感染症情報センター公表のデータによる

(URL : <http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>)

(2) 咽頭結膜熱警報とは

厚生労働省の感染症発生動向調査により把握した各保健所管内の定点医療機関を受診した咽頭結膜熱患者数が、国立感染症研究所において設定した警報レベルの基準値に達したときに発令し、大きな流行の発生や継続が疑われることを指します。

<咽頭結膜熱の警報レベル>

警報	開始基準値	終息基準値
定点あたり患者数(人)	3	1